



日本アマチュア無線連盟



土浦アマチュア無線クラブニュース 平成26年 2月号

# お 知 ら せ

事務局 JH1WGP 大木 武

## ★ 第 33 回茨城県支部賀詞交歓会が開催されました

去る 1 月 18 日～19 日潮来市の‘ホテル芝田’にて第 33 回茨城県支部賀詞交歓会が開催されました。県内各地から総勢 55 名の皆さんが参加されました。

当クラブからは、JA1IOA、JE1RLK、JF1MFE、JF1KZD、JG1TPW、JG1WMN、JR1CCP の 7 名の皆さんが参加されました。参加局の皆さんご苦労様でした。

## ★ 土浦アマチュア無線クラブ総会、レピータ管理団体総会のお知らせ

日時 : 3 月 16 日 (日) 時間 : 13 : 00

場所 : 4 中地区公民館

クラブ総会終了後、土浦レピータ管理団体の総会を開催いたします。

3 月には総会案内状を送付予定です。

## ★ 関東 UHF コンテストが下記要領にて開催されます

**主催** 1 都 7 県合同、関東地方本部

**日時** 平成 26 年 2 月 11 日 (火、祝日) 09 : 00～15 : 00

**参加資格** 関東エリア内のアマチュア局 (社団局を除く) および SWL

※関東エリア内を移動する他エリアのコールサインの局も含む

**使用周波数** 430 / 1200 / 2400 / 5600MHz 帯、10GHz 帯

※JARL 主催コンテスト使用周波数帯および総務省告示による使用区別を使用

### 交信方法

○呼出 : 電信「CQ KNT TEST」、電話「CQカントウ コンテスト」

○コンテストナンバー : RS / T + JARL 制定の市郡区ナンバー

【例 1】相手局の RS が 59 で自局の運用場所が豊島区=59 100116

【例 2】相手局の RST が 579 で自局の運用場所が群馬県吾妻郡=57916001

**\* 皆さんトライしてみましょー！！**

## ★ 2 月 28 日小型衛星「結」が打ち上げられます

この小型衛星「結」は筑波大が開発した人工衛星で H-IIA ロケット 23 号機 ‘GPM 主衛星’ に相乗りする方法で、2014 年 2 月 28 日午前 3 時 7 分から午前 5 時 7 分の間に種子島宇宙センターから打ち上げられます。

相乗りは「結」のほかに香川大、鹿児島大、信州大、帝京大、多摩美術大、大阪府立大がそれぞれが開発した小型衛星があります。

**\* 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は民間企業や大学などの開発する小型人工衛星を“あいのり”で打ち上げる機会を提供している。**

**\* 「結」はアマチュア無線用の 435MHz 帯の電波を使って、衛星内部の温度や電源電圧などのデータをモールス符号に変換して送信します。一人でも多くの人々が簡単に受信できるように、普通の小型トランシーバで受信できる、音声変調をかけたモールス信号を使うことが特徴です。**

受信したモルズ信号は、衛星のデータを圧縮してモルズ符号に変換したもので、無意味な英文字の羅列にしか見えませんが、インターネット上に設置された受信報告用のWEBページから情報を入力してもらうと、自動的に情報が解析されて衛星の状態が画面に表示されます。もちろん、衛星内部の情報は時々刻々変化するので、例えば昼と夜の衛星の状態の違いを体験するのも面白いと思います。

受信報告をしてくれた方々には受信確認証が発行される。また希望される方には受信記念グッズも贈呈されます。

## ネットワーク衛星「結」プロジェクト



### ★名前

ITF-1 (愛称「結」)

### ★大きさ

109 x 102 x 130.5 mm

### ★打ち上げ

2014年2月28日 種子島宇宙センター

### ★ダウンリンク周波数

437.525 MHz (F2A)

### ★運用期間

4~6ヶ月



### 「結」の使い方

#### ①送信

宇宙から「結」が地球に向かって電波を送信



#### ②受信

アンテナを使って「結」からの電波を受信!



#### ③報告

インターネットを使って受信内容を報告



今はアメリカのあたりに居るよ!

「結」は今どこ?



#### ④交流

世界中の受信報告者と情報を交換



### 「結」プロジェクトの活動



子どもたちを対象としたアンテナ作成教室!

アマチュア無線クラブと共同でハムフェア出展! →



「結」プロジェクトでは衛星の開発だけでなく、アウトリーチ活動にも力を注いでいます。「結」プロジェクトの活動状況や、衛星「結」の運用情報などはホームページを使って発信していますので、是非チェックして下さい!!

## 茨城県支部賀詞交歓会

JF1MFE 久松 満男

新年を迎えて県支部恒例の賀詞交歓会が1月18日にルート51アマチュア無線クラブの担当で潮来市のホテル芝田にて55名の参加で開催されました。

午後12時15分より県支部会議が行われました、県支部長が時間に都合が悪く遅くなりましたので、議長にJG1WMN局がなりましてH25年度の実地事業全般の反省、評価と、H26年度の事業計画、予算について会議を進めまして3時に終わり、その後、監査指導委員会の会議があり、3時30分より交歓会の受付が始まりました。

今回は各自ジャンクを1点以上お持ちくださいとのことで受付で諸々沢山の品物が持ち込まれまして賑やかでした。

掘り出し物もけっこうありました。当局も、ボーカー用のマイク、いくらか使わないモバイル用の無線機を超格安でゲットでき恵比寿顔、・・・18時 集合写真を撮り、予定通り18時30分交歓会が始まりホストクラブ会長 7N1PFW 石田さんの挨拶、県支部長



JH1WFK 深津さんの挨拶、そしてJARL 関東本部長 JA1NVF 吉沼さんの挨拶、栃木県支部長 JH1NLL 安部さんの挨拶の後、監査委員長 JH1TUJ 松島さんの乾杯で宴会が始まりしばしの歓談で賑やかでした。

そしてお待ちかねの抽選会が30数名の当り？と、始まり大盛り上がり、土浦クラブでは JA1IOA、JR1CCP、JE1RLK、JF1MFEがそれぞれの景品が当たりました。後は残念でした。

豪華な賞品もいくつかあり、超目玉がICOMのID31デジタルトラン



シーバーでした、ちなみに、当選者は栃木県支部長のJH1NLL安部さんに行きました。

その後、9時より2次会が始まり大勢の参加で、又違った盛り上がり！IOA、CCPも良い気分の様でした、日帰り参加のJF1KZD池田さんも遅くまで楽しんでるようでした。お疲れ様です。JG1TPW野尻さんは監査委員会の会議が終わったらご用があるのか帰られました。

参加者 JA1IOA、JR1CCP、JE1RLK、JG1KZD、JF1MFE、JG1TPW、JG1WMN



第33回 JARL 茨城県支部賀詞交歓会



水郷潮来舟やめまつり 渡入り舟

開催日：平成25年1月18日(土)

場 所：潮来市「ホテル芝田」

ホストクラブ ルート51アマチュア無線クラブ

## ゼロ戦その4

JH1WGP 大木 武

台湾から飛び立ったゼロ戦がマニラ近辺のアメリカ基地まで一気に飛び基地攻撃や空戦を演じるほどの脚の長い戦闘機だとはアメリカ軍は当初信じられなかったようだ。航空母艦から飛び立ったに違いないと。マニラ湾に浮かぶオタマジヤクシのような島がありこれがコレヒドール島と呼ばれ、頑強なアメリカ軍基地があった。ここにアメリカ極東陸軍



司令官ダグラス・マッカーサーが指揮を執っていた。しかし圧倒的日本軍の強さの前にマニラが陥落したころマッカーサーはオーストラリアに退いていた。この時の有名な演説に「アイシャルリターン」（私は必ず戻ってくる）があります。指令官がいないコレヒドール島もかなり長い間持ちこたえたがやがて日本軍の手に落ちた。

戦後になってもマッカーサーは台湾からマニラまでゼロ戦が飛んできたことをなかなか信じなかったらしい。それほど日本の技術が恐れられ優秀だったか分かります。

ある日のマニラ上空でのゼロ戦の空戦は圧倒的だった。ゼロ戦 34 機は米軍 40 機と最大規模の空戦を展開し 30 数機を撃墜した。ゼロ戦の被害はたったの 2 機、しかも台湾への帰島中悪天候にもかかわらず無事帰還した搭乗員の技量も優れていた。

一方シンガポール (9V1) から撤退を余儀なくされたイギリス軍はセイロン島 (スリランカ: 4S7) に拠点を構え日本軍攻撃に備えていた。さすがにインド洋に行くにはゼロ戦でも航空母艦からの攻撃となる。真珠湾攻撃を終えた機動部隊はインド洋に進出 {真珠湾攻撃を終えてその一部はウエーク島 (KH9) の攻撃に参加。攻略成功しこの地は日本軍の占領地となった。}

昭和17年4月5日セイロン沖の航空母艦から飛び立ったゼロ戦はセイロン上空で待ち構えていたイギリス戦闘機数十機と激しい空中戦を展開したが30分ほどで50機を撃ち落とす。この時スピッツファイヤ戦闘機がいたとの話があるがこの時点



ではまだ投入されていなかったらしい！（昭和18年以降か）尚日本軍の損害は6機のみと世界最強の戦闘機と最優秀熟練パイロットが生み出した戦果であった。特に空母「赤城」乗船の搭乗員は超一流と言われた。同月9日にも出撃し英空母「ハーミズ」を撃沈させた。またそれより早くアンダマン (VU4) も海軍陸戦隊が上陸成功しておりインド洋は日本軍の制圧下に入った。

つづく

## 台風ヨランダ被災者支援について

JA1PBV 伊藤 寧夫

昨年 11 月 8 日にフィリピンの南部に上陸した台風は、風速 100m とも言われ、東側の海に面した地区では高潮が津波のようになり、大きな被害をもたらしました。

私は、6 月から 7 月にかけて IOTA サービスでこの国を訪ねたことや現地の知人が多いことから、何かしてやりたいと思い所属事務所に支援計画があれば、自分が行きたいと手をあげました。

そんなことから、昨年 11 月より三度目の支援でレイテ島のオルモック市とメリダ町を対象に活動しています。

元々、大きな産業もない地方都市ですので、裕福な地域で無いところを襲った自然災害ですので、目に入るものは悲惨の一言です。

でも、この国の人たちは、どんな環境でも極めて明るく、生活をしています。既に、二ヶ月も経っているのに電気は、公共施設（庁舎や公立病院）位しか給電されていません。

それどころか電柱が倒れたままですので、個人宅への電気・電話等は全く使えません。僅かに商用施設や裕福な人たちだけが油式発電機を使っているくらいです。

私たちが提供していることは、公共放送設備（ソーラで給電）や現地の人たちの充電式照明器具や携帯電話等への充電サービスをしています。もっと色々なことをしてあげたいと思う反面、資金の点や機材・技術・人材と言ったことには限界があり、非力さを痛感しています。

JH1WGP 大木さんが書かれている戦中のことでも、日本とこの国との関係は非常に深いものがあると思います。過去の関係もありますが、この国の人々は親日感情がとてもあると思います。ぜひ、何らかの形で支援していただけると助かります。

そう、1 月 11 日に三回目の入島をしました。それから 23 日まで太陽を一回も見ることが出来ませんでした。今年の台風 1 号 AGATON が発生し停滞していたのです。セブから来る時のフェリーは大揺れし、何度も椅子に叩き付けられました。

折角のソーラも太陽無しでは何の意味もなく、充電屋を探した次第です。23 日からはガソリン発電機を追加し、うろうろしています。

支援先の一つの Merida 町には 22 の集落があります。24 日現在で 12 の集落を回りました。山間部の集落へはバイクの後部座席にのるか、歩くしかないところもありますが、おんぼろ VAN（2 駆）で強引に行ったりしています。徒歩よりは早く自転車よりは遅い移動です。

今回は無線用の機材を持ってきましたが、時間や電気の点で運用することは出来ないと思っています。まあ、こんな事態ですのでやむをえません。

なお、現地で非常通信をしていた現地の Ham と顔見知りになりました。同じ趣味を持つ人とはすぐに打ち解けることが出来ます。大事にしたいですね。

そう、忘れてはならない日本の Ham の友人達、色々とお声をかけてくれたり、JA1EHQ 深谷さんには DC/AC インバータを提供していただいたり、大変感謝しています。ありがとうございました。

なお、会報発行のお手伝いは、三か月サボってしまいました。帰国は、2 月 3 日の予定です。また、お空の上で、飲み屋の席でお会いしましょう。

Best 73 de DU5/JA1PBV from Leyte Is. Philippines

追伸、次ページに写真を少し載せます。



これじゃ、電気は無い



暗くせんと点かんのじゃ



小学校です

皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構ですので、連絡してください。

平成 25 年度 第 11 号	通巻 459 号	JARL 登録番号 14-1-0018
発行日：平成 26 年 2 月 1 日	発行者：土浦アマチュア無線クラブ 事務局	
オンエア ミーティング：毎週月曜日	PM9：00～ JR1VG レピータ（439.70MHz）	